



## 地域の農業発展のために

松坂龍美さんが町長を訪問

**県** 農業委員会大会が平成29年11月24日(金)に開催され、町農業委員会の松坂龍美会長が長年の功績を認められ、農政功労農業委員部門で「青森県農業会議会長賞」を受賞しました。2月20日(火)には、町役場を訪れ、濱館町長に報告をしました。濱館町長は「受賞おめでとうございます。農業は大事な基幹産業であり、町全体が発展するために、これからもよろしくお願ひします」と話しました。それを受けて松坂会長は「これからも農業振興や担い手育成に努め、町の農業を発展させていきたい」と意気込みを話していました。

## なかどまりの美味しいが盛りだくさん

なかどまりイガ米～きてけフェア

**町** の特産品をPRしようと「なかどまりイガ米～きてけフェア」が2月10日(土)～12日(月)、青森県観光物産館「アスパム」で開催されました。このイベントでは、海産物、野菜、加工品などを屋内外で販売し、青森市民や観光客などをターゲットに町の特産品をPRしました。また、応援に駆け付けた当町イメージキャラクターの米ケルJr.とイカリんがダンスを披露し、会場を沸かせていました。屋外では海産物つかみ取りやタコの重さ当てクイズ、餅つき大会・振舞、屋内では金多豆蔵人形芝居や潮風おはなし会による読み聞かせが行われ、参加者らを楽しませました。活タコの解体・販売会では、初めて見る大きなタコに子どもたちも興味津々で、ついたりつかんだりして楽しんでいました。



## 中泊町さよぐきたの！

中里三味線会がおもてなし公演

**津** 軽中里駅に来た観光客らをもてなそうと、中里三味線会が1月20日(土)、駅ナカにぎわい空間でおもてなし公演を行いました。この日は、曲弾のれそれやあいや節など7曲を披露しました。おもてなしを受けた観光客らは「偶然だったが、津軽三味線がきけて良かった。歓迎されているようで嬉しい」と笑顔を見せていました。この取り組みはストープ列車運行期間の毎月第3土曜日の12時30分頃から駅ナカにぎわい空間で行われています。

## ルールは簡単！でも奥が深い？

ニチレクボール大会

**冬** の運動不足の解消や交流を目的に町教育委員会が1月21日(日)、町体育センターで第2回なかどまりニチレクボール大会を主催し、約30人が参加しました。ニチレクボールは、2チームがそれぞれボールを投げ合い、より標的となる球に近づくことで得点を競うゲームです。試合は、小学生の部と一般の部に分かれて行われました。参加者らは狙いを定めて転がしますが、思わぬ方向に曲がったり、力を入れすぎて遠くまでいったりと苦戦していました。上手く的の近くに止まると、周りからは拍手が起こるなど、みな楽しそうにゲームを進めていました。参加した人は「カーリングみたいなルールで面白かった。狙ったとおりに転がると嬉しい」と笑顔で話していました。





## 公共交通で奥津軽を堪能

北海道木古内町から奥津軽巡り

**地**域公共交通の利用促進および道南エリアとの交流を目的とした自治体協働企画ツアー「ストーブ列車とご当地グルメで冬の奥津軽巡り」が2月18日(日)に開催され、北海道木古内町から41人が参加しました。参加者らは北海道新幹線奥津軽いまべつ駅から、いまべつ線バスを利用し津軽中里駅に到着。駅では、濱館町長や津軽鉄道応援直売会が出迎えました。

津軽中里駅では、金多豆蔵人形芝居を観賞。軽妙なやり取りに自然と笑い声が出ていました。メバ焼き！の試食・販売も行われ、中にはお土産やおやつにとまとめ買いする人もいました。

その後、ストーブ列車に乗り込み、ストーブ弁当をほおぼりながら五所川原市へ。立佞武多の館を見学し、いまべつ駅経由で帰路につきました。ツアー参加者らは「新幹線で1駅と近いが、奥津軽いまべつ駅からは初めて。中泊には、いろいろな魅力があり、また機会があったら来てみたい」と話していました。

## 厳冬の奥津軽を体験

法政大学生がフィールドスタディ

**法**政大学の学生ら16人が、奥津軽地域の各所を2月17日(土)～20日(火)の間に訪れ、地方の現状や地域づくりなどを学びました。

3日目の19日(月)は、当町のふれあいセンターに宿泊、グリーン・ツーリズムの会「かけはし」の会員らによる郷土料理に舌鼓を打っていました。20日は、薄市地区にある佐藤イネ子さんのビニールハウス農園で、アスパラガスと水菜の収穫を体験。包み焼きしたアスパラガスの甘さに驚きの声を上げていました。その後、五所川原市の学習センターで、奥津軽への旅行プランを考え発表しました。民泊や農業体験などフィールドスタディーで学んだことを活かしたプランや、博物館や伝統芸能など自分たちで調べて考えたプランなどが発表されました。

発表した学生たちは「大学では学べない、地域の人とのつながりや文化、津軽弁のあたたかさを感じた。今度は友達を誘って、考えた旅行プランを実行してみたい」と話していました。



## 声を掛け合い楽しく運動

ビーチボールバレー大会

**冬**の運動不足の解消や交流を目的にビーチボールを使ったバレー大会が2月4日(日)小泊小学校体育館で行われました。大会には、9チーム33人が参加し、予選リーグ、決勝トーナメントで争いました。中学生チームも参加し、一般チームに挑戦しました。バレーボールよりも大きくやわらいビーチボールに参加者らは苦戦しながらも、ラリーを続けていきました。大会を終えて参加者らは「ビーチボールなので変な方向に飛んだりもしたが、それも面白かった。気持ちのいい汗

をかくことができた」と話していました。

### ■大会結果

1位・活ハマクラブ 2位・Team峰 3位・みちのく銀行中里支店 ブービー賞・みちのく銀行小泊支店